

ATELIER MUJI

『無印良品と明和電機をくらべた展 ナンセンス計測のころみ』

ATELIER MUJI（東京都：無印良品 有楽町内）は、2017年6月30日（金）～8月27日（日）まで、『無印良品と明和電機をくらべた展 ナンセンス計測のころみ』を開催いたします。



宇宙に地球が誕生し生命46億年の歴史の中で、自ら道具を考案し、つくり使う生き物は、ごく稀です。その中でも人間は、群を抜いて道具との付き合いが長く深く、朝起きてから寝るまで、私たちはたくさんの道具を使って暮らしています。一体だれがどうやって考え、どのようにつくり、そしてどんな人が使うのでしょうか。

本展では、この素朴な疑問を来場者のみなさんと考えてみようと思います。ふだん、見過ごしている何の変哲もないことに、実はものすごいことが潜んでいるのかもしれない。そしてそれに気がついた時、ちょっと面白い世界が、みなさんを待っているのです。

そして、企画協力のアートユニット明和電機代表取締役社長の土佐信道氏は、このように本展を語っています。

「無印良品」と「明和電機」。この2つの会社はどちらもさまざまな道具を作っています。たとえば電気の延長コードのように共通する製品もありますが、両者の開発プロセスがちがうため、同じコードでもしくみや形がまったくちがいます。

明和電機の製品の開発プロセスは、出発点に土佐信道(明和電機社長)の芸術的インスピレーションがあります。それを工学的な手法でかたちにしていくことで、数々の常識を超えた「ナンセンス(超常識)」な製品を作ってきました。ただし、芸術が出発点のため、中には首をかしげるようなおかしな製品もあります。

一方無印良品は、「わけあって、安い」をキャッチフレーズに、生活の基本となる本当に必要なものを必要なかたちで、安くて良い品のための商品開発を行ってきました。

本展では、この2つの会社で作った同じ機能の道具を比較展示することで、明和電機の「ナンセンス(超常識)」の構造を、無印良品という標準をもとに読み解いていきます。またこの分析を通して、無印良品と明和電機の中にある、日本人の道具に対する感性についても考察します。

※なお、本展イベント情報につきましては、後日リリースおよび公式サイトにて詳細をお知らせいたします。

【基本情報】

タイトル | 『無印良品と明和電機をくらべた展 ナンセンス計測のころみ』

会場 | 無印良品 有楽町 2F ATELIER MUJI

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3-8-3 インフォス有楽町 無印良品 有楽町 2F

会期 | 2017年6月30日(金)～8月27日(日)(全59日間)

※店舗休館の場合は、それに準じます。

開場時間 | 10:00-21:00 (入場無料)

お問合せ | <http://www.muji.com/jp/events/ateliermuji/>

主催 | 無印良品

企画・運営 | 株式会社良品計画 生活雑貨部企画デザイン室・無印良品 有楽町 ATELIER MUJI

企画協力 | 明和電機

グラフィックデザイン | 中村至男

写真 | 三橋純



明和電機

土佐信道プロデュースによる芸術ユニット。青い作業服を着用し作品を「製品」、ライブを「製品デモンストレーション」と呼ぶなど、日本の高度経済成長を支えた中小企業のスタイルで、様々なナンセンスマシーンを開発しライブや展覧会など、国内のみならず広く海外でも発表。音符の形の電子楽器「オタマトーン」などの商品開発も行う。2016年1月には中国上海の美術館 McaM で、初の大規模展覧会を成功させ、同年6月には大阪では20年ぶりとなる展覧会を開催した。

ATELIER MUJI 公式 Web サイト | <http://www.muji.com/jp/events/ateliermuji/>

本展へのご取材・ご掲載に関するお問い合わせ (株)良品計画 生活雑貨部企画デザイン室：永田・小嶋
TEL: 03-5208-8253 MAIL: info@ateliermuji.jp